

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荻原幹子
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3352
事務事業名	4112 健康増進事業											
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課											
施 策	01010100 健康づくりの充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費										
	事業	020000 健康増進事業										
事業目的						事業概要・効果						
健康づくりの指標となる「第2次須坂市健康づくり計画」に基づき、保健指導、健康講座などを行い、生涯を通じて生活習慣病予防を主体的に実践する市民を増やす。						「生涯健康都市すざか」を目指し、市民1人ひとりが「自分の健康は、自分でつくり守る」ために健康増進に関わる事業を実施する。健康に対する意識を持ち実践する市民を増やすことで、生涯にわたり健康で暮らせる須坂市を目指す。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
全地域公民館とおでかけ健康教室、健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー など	全地域公民館とおでかけ健康教室、健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー など
平成29年度 予定	平成30年度 予定
健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー など	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	「体重計にのろう」実践の表彰				
算式	累計表彰者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	358	394	430	500
	実績	368			
指標選定の理由	生活習慣病予防を主体的に継続的に実践している指標として設定				
最終年度目標の根拠	26年度の実績を基に算出（年間36人表彰）				
指標名					
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		15,300	21,803
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	602	453
	地方債	0	0
	その他	4,120	270
一般財源		10,578	21,080
人員数(人)	正規職員	1.8	1.7
	嘱託職員	2.9	1.3
	臨時職員	0.1	0.3
人員コスト	正規職員	12,994.2	12,272.3
	嘱託職員	7,989.5	3,581.5
	臨時職員	114.3	342.9
	計	21,098.0	16,196.7
市民一人当たりの経費		0.7	0.7
総額		36,398.0	37,999.7

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4,198	健康教室講師謝礼 健康づくり継続実践者賞賜金
11節 需用費	3,604	健康教室、食育事業事務用品 健康カレンダー、ウォーキングマップ印刷製本費
13節 委託費	492	おでかけ健康教室 尿中塩分測定検査
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	406	健康まつり実行委員会負担金 研修会負担金
その他	6,600	臨時職員賃金 2844 費用弁償 138 役務費118 バス借上料 135

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,069	健康教室講師謝礼、創生プロジェクトセミナー等講師謝礼、健康づくり継続実践者賞賜金
11節 需用費	3,845	健康教室、食育事業事務用品、須坂エクササイズポロシャツ、健康講座チラシ、健康カレンダー、ウォーキングマップ印刷製本費
13節 委託費	60	創生プロジェクト健康講座委託料、おでかけ健康教室、尿中塩分測定検査
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,640	健康まつり実行委員会負担金 研修会負担金
その他	14,189	臨時職員保険料 228 臨時職員賃金 5491 費用弁償435 役務費 620 使用料 650

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	健康に対する意識を持ち実践する市民が増えることで、健康に暮らせるまちづくりの実現につながる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民1人ひとりが「自分の健康は、自分でつくり守る」ために健康増進に関わる事業を実施することで、市民自らが健康づくりに取組む活動につながり有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	報償費についての削減を行った。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<p>「生涯健康都市すざか」を目指し、多くの市民が健康に関心を持ち、健康づくりに取組むためのポピュレーションアプローチとして大切な事業であるため、今後も内容の見直しを行いながら事業継続が必要である。</p> <p>28年度は 公民館との共催事業を見直した。新たに健康応援教室を開始したが、市民への周知が課題</p>

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>ポピレーションアプローチは、年代別や無関心層への効果的な対策について、現在の事業の評価を行いさらに有効な事業としていくことが必要。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>市民1人ひとりが「自分の健康は、自分で作り守る」意識の醸成を、関係機関とともにさらに進める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	